

中国語の方向補語“下(来/去)”の派生的用法について —「量」の概念との関連から—

丸 尾 誠

1. はじめに

中国語の各種方向補語のいわゆる派生義の多寡には差がみられる。方向動詞の中で、空間認知（およびメタファー¹⁾）や移動事象の問題を考える際に中核となる“上”“下”については補語として用いられた場合、派生義の広がりや他の方向補語と比べて顕著となっている。その両者には対称的な用法が存在する。

- (1) a. 跳上车 [車に飛び乗る]
b. 跳下车 [車から飛び下りる]
- (2) a. 穿上衣服 [服を着る]
b. 脱下衣服 [服を脱ぐ]
- (3) a. 换上工作服 [作業着に着替える]
b. 换下工作服 [作業着を着替える]

例 (1) の“上”“下”が用いられたペアでは移動が垂直方向を軸として逆になっていることに加えて、目的語の“车”がそれぞれ着点、起点となっている。例 (2) における“上”“下”のそれぞれが表す「付着義」「離脱義」には、その着点指向・起点指向という性格が反映されている。例 (3) において、a、b ともに動詞を同じくしながら、その表す意味が対称的となっているのも、補語の部分が表すこの着点指向・起点指向という性格に基づくものである。また、次の獲得義を表す例 (4) については、ともに「別荘を(買って)手に入れる」という意味が表されているものの、“上”“下”のそれぞれが表す「動作の実現(目的の達成)」「残存」という概念が、そのように表現する動機づけとなっている。

- (4) a. 买上别墅 [別荘を買う]
b. 买下别墅 [同上]

こうした同一の行為が異なる動機づけによって表される例は、他にもみられる。

- (5) a. 写上名字 [名前を書く]
b. 写下名字 [同上]

例 (5a) は先にみた「付着」、(5b) は「残存」という観点から「名前を書く」という意味を表すものである。

一方で、“上”“下”の非対称性 (asymmetry) に着目した「文法化」という側面

から両者が論じられることも少なくない。例えば

(6) a. 关上 [閉める]

b. 打开 [開ける]

(7) a. 闭上眼睛 [目を閉じる]

b. 睁开眼睛 [目を開ける]

この二組のペアでは、「開ける」は補語“下”ではなく、どちらも“開”を用いて表されている。

本稿では“下来/下去”および“下”の派生的用法の中から、“上”類にはみられない「継続義」および「収容義」²⁾を取り上げる。

(8) 照这样斗下来两头牛都得受伤 (《HSK 词语用法详解》136)

[このまま闘い続けたら、2頭の牛はきっとどちらも怪我をする]

(9) 这么多菜一锅怎么能炒下? (《中国语补语例解》66)

[こんなにたくさんの野菜、なべ1つでどうやって炒めることができようか?]

例(8)では発話時に降の継続を表すのに、“V 下来”(Vは動詞)の形が用いられている(“斗下去”としても可)。例(9)の“下”はいわゆる収容義を表すものであるものの、この動作の意味が前景化された日本語訳から中国語学習者が“炒下”の形を用いてこれを表現することは容易ではない。本稿では、この二義の理解にともに関わる「量」の概念という観点から、両用法について分析を試みる。

2. “下来”“下去”の表す継続義

2.1. “下来”の完了までの過程を表す用法

補語“下来”“下去”の代表的な派生義として「継続義」が挙げられる。一般に前者は「過去から現在までの継続」、後者は「これから引き続き行われること」を表すとされる。

(10) 这种习惯是一代一代继承下来的。

[この習慣は代々引き継がれてきたものだ]

(11) 我想在中国继续工作下去。

[私は中国で引き続き仕事を続けていきたい]

“V 下来”の形で表される継続義に関しては、多くの場合

伝、流传、继承、保留、保存、遗留、生存……

といった、それ自体が長期にわたる持続義を有する動詞を用いた例が示され、教学上も「過去から現在までの持続」という意味が強調されるため、《对外汉语教学参考》の116頁にみられる次の記述のように、同意味区分の中に短いスパンを表す例が入っていると、中国語学習者は違和感を覚えてしまうことになる。

“动词+下来”表示动作从过去继续到现在。如：

一起爬山的人中只有小李没坚持下来，回去了，其他的人都登上了山顶。

[一緒に山に登った人の中で李さんだけが頑張りがれずに、帰っていった。他の人たちはみんな山頂まで登った]

(日本語訳および体裁は引用者による)

以下の例においては例(12)から(14)の順に、“V 下来”の表す動作の継続時間が短くなっている。

(12) 一天卖下来也能赚不少(《中国语补语例解》316)

[1日売ただけでもたくさん稼げる]

(13) 几个小时讲下来，口渴得要命。(《汉语水平步步高》147)

[数時間話し続けたので、のどが渴いてしかたがない]

(14) 一节课上下来她就晕倒了(《HSK 词语用法详解》447)

[1コマ授業を行って、彼女は倒れた]

“下来”については『講談社 中日辞典』(第3版、2010年)の記述をみると「動作が現在に至るまで継続すること、または、動作が最初から最後まで持続することを表す」(1717頁)とあり、ここでは後半部に発話時点との関わりが捨象された意味が表記してあるものの、教学上その意味は前半に併記されている「現在までの継続義」ほど取り立てて強調されるものではない。また、「ある事柄が完了するまでの全過程を表す」(1596頁)という記載がみられる小学館の『中日辞典』(第2版、2003年)では“算下来”[計算してみれば]や“做下来了”[作り上げた]のようなフレーズの例が挙げてあるにすぎないといった実情から、例(12)～(14)にみられるような用法を当該の意味と結び付けて、中国語学習者が実際に使いこなすのは容易ではない。上記《对外汉语教学参考》の“坚持下来”の例なども、この「完了までの過程を表す」に該当するものである。行為に要する時間的な幅を明示する代表的な要素としては、以下の①～④のようなものが挙げられる。

①状語

(15) 这么多年的事了，他还能从头到尾讲下来(《汉语动词用法词典》191)

[もうこんなに時間が経ったことなのに、彼はまだ始めから終わりまで話すことができる]

ここでは状語“从头到尾”を用いて、行為の全過程が表されている。

②動詞の表す行為の過程

形容詞を用いて状態変化について述べた“平静下来”[静まってくる]が過程を表すのと同様に、変化を含む動詞“停”を“下来”と組み合わせた“停下来”[止まる]についても動作の完成・結果を表せるのみならず、“慢慢地停下来”[ゆっくり止まる]や“正在停下来”[止まりつつある]のように、停止するまでの変化（移動）の過程を表すことも可能である。次の例では“下来”と組み合わせさせた“计算”“检查”という動詞自体が、行為の遂行に伴う過程（一定のプロセス）を想起させるものである。

(16) 这次旅行计算下来得花一大笔钱（《中国语补语例解》238）

[今回の旅行は計算してみるとものすごく費用がかかる]

(17) 这次检查下来发现管理上的问题不少（《中国语补语例解》244）

[今回検査して、管理上の問題が少なくないことが分かった]

杉村 1983 : 116 にある注釈の 1 つに、次のような記述がみられる。

有时“自始至终全面”的意思并不明显。譬如：

……11 月 18 日中央电视台播发的中国女排凯旋的实况节目中，在首都机场大厅欢迎女排的巨大横幅写的是：“热烈欢迎中国女排胜利归来！”我的儿子十九岁，高中二年级学生，和一些坐在电视机旁的青少年，对这条标语都念不下来。（傍点原文のまま）

これは「始めから終わりまでの意味が明確ではない」ケースとして挙げられた例であるが、ここでは“热烈欢迎……”と文字を順を追って 1 つずつ読んでいく様子が見えがえる。こうした行為の過程という認識を次の例に適用すると、実際には言語化されていない行為の対象（例（18）では「原文」のこと）に対しても、（文字を目で追っていくという点で）ある程度の分量を感じ取ることが可能となる。

(18) 你能翻下来吗（《HSK 词语用法详解》155）

[君は訳せますか？]

③名詞（フレーズ）の表す分量

次の各例では、行為の対象となっている名詞（フレーズ）の表す分量から、行為の過程を認知できる。

(19) 两节课辅导下来也够累的（《汉语动词用法词典》139）

[2 時限の補習をすると非常に疲れるものだ]

(20) 这么长的故事你能讲下来吗（《HSK 词语用法详解》268）

[こんなに長い物語、君は話せるの？]

- (21) 这些活儿干下来可真不容易 (《中国语补语例解》179)

[これらの仕事をやろうとしたら本当に容易ではない]

- (22) 他连中学也没读下来 (《汉语动词用法词典》111)

[彼は中学校すら卒業できなかった]

- (23) 整个曲子我弹不下来, 只能弹一段 (《汉语动词用法词典》356)

[曲全体は私は弾けないが、1 段だけ弾ける]

例 (23) では、「分量が多くて最後まで～できない；しきれない」という不可能の意味が表されている。こうした分量に関わる概念が、次の例では行為遂行の難易度を表すのに転用されている。

- (24) 这么难的文章他能翻下来吗? (《中国语补语例解》150)

[こんなに難しい文章、彼は訳せるの?]

- (25) 内容太深, 他读不下来 (《汉语动词用法词典》111)

[内容が深すぎて、彼には読めない]

- (26) 简单的文章他能阅读下来 (《HSK 词语用法详解》638)

[簡単な文章なら彼は読める]

④数量表現の表す行為の分量

分量を測定する際に、もっとも客観的な指標となりうるのは数量表現である。

- (27) 没想到五百米我也游下来了 (《中国语补语例解》540)

[私も 500 メートル泳ぎきるとは思いもしなかった]

- (28) 一万米我可游不下来 (《汉语动词用法词典》441)

[1 万メートルなんて私はとても泳ぎきれない]

- (29) 这孩子一年三双鞋都穿不下来 (《汉语动词用法词典》61)

[この子は 1 年間で靴 3 足ではもたない]

ここでは数値化された量の行為の達成の可否が述べられている。

以下の例では、「完成するまでに（全体で）どれだけ時間・費用などがかかる」という意味が表されている。

- (30) 全部节目表演下来得三个小时 (《汉语动词用法词典》26)

[全部の演目が終わるまでに 3 時間はかかる]

- (31) 这项研究做下来至少还要半年 (《中国语补语例解》592)

[この研究をやり遂げるのに少なくともあと半年はかかる]

- (32) 这房子盖下来共花了十几万元 (《中国语补语例解》175)

[この家を建てるのに全部で十数万元使った]

- (33) 这条毛裤打下来起码要用二斤毛线 (《中国语补语例解》100)

[この毛糸のズボン下を編むのに少なくとも2斤の毛糸が必要だ]

従来より“下来”の表す「完成義」³⁾については教学上也強調されてきたものの、それは主に動詞の語彙の意味に基づくものであった。完成義の“下来”を補語とする代表的なものとしては“写、背、记、留、剩、买、接、收”などの結果を生み出す動詞、あるいは“答应、承认、确定”などの非持続動詞が挙げられる。これらの動詞はその性格上、本来的に完成段階が焦点化されるものである。とりわけ前者の動詞“写、背……收”については「(対象の)残存」を表すことから、動作の完成を明確に感じ取ることができる。これに対し、「現在までの継続」を表すとされる“继承下来”の類は、発話時点が動作の(暫時的な)到達点となる。そして、本稿の主な考察対象である「完了までの継続の過程」を表す用法については、先にみた③や④の分量・数量といった要素が動作の区切りを示すことになる。また、この意味を表す用法については、上記の例からも見て取れるように可能表現で用いられるケースが多いということがその特徴として挙げられる。

(34) 这两支曲子你能吹下来吗? (《中国语补语例解》87)

[この2曲を君は吹けますか?]

「できる」「できない」というのはその行為をひとまとまりとして捉えるものであり、これも動作に区切りをもたらし手段の1つである。そうした「区切り」との関連で、《汉语动词用法词典》の“下来”の用法に関する箇所、次のような記述がみられる。

钱数是否够做某事。……

三块钱要打五把刀可打不下来

[3元で刃物を5つ作ろうなんてとても無理だ]

这件东西二百块钱可买不下来

[これは200元ではとても買えない]

(《汉语动词用法词典》“说明书”15 体裁および日本語訳は引用者による)

この意味での同様の例は広くみられる。

(35) 这些相片十块钱可洗不下来 (《中国语补语例解》494)

[これらの写真は10元では現像できない]

(36) 五块钱能修下来吗? (《中国语补语例解》513)

[5元で修理できるのですか?]

(37) 一件毛衣三十几块钱能织下来吗? (《中国语补语例解》566)

[セーター1着が30数円で編めるのですか?]

ここでは行為の遂行の可否を表すのに、数量的な尺度が用いられている。これは金銭に関わる事象に限られるものではない。

(38) 一天测量不下来 (《HSK 词语用法详解》56)

[1 日では測りきれない]

すなわち、例文中で示された条件に相当する数値がある程度に達すると、その行為の遂行が可能になる（その境目が動作の区切りに相当）という点で、数値の増加と行為の関係を「完了までの過程」になぞらえて理解することができる。

さらに、次のように段階の移行を表す形式（“等～再…”や“一～便…”）においては、後半部分で示された行為が行われる前提となる段階の完成を補語“下来”を用いて表すことが可能である。

(39) 等全部测算下来再说 (《HSK 词语用法详解》56)

[全部測ってからにしよう]

(40) 一闲下来便睡觉 (《HSK 词语用法详解》556)

[暇になると寝る]

2.2. 発話時以降の継続を表す“V 下来”

“下来”の基本義は「発話時点（通常は現在）までの継続」を表すことである（例（10）参照）。しかしながら、次の例（41）～（45）では、「発話時以降の継続」を表すのに“V 下来”の形が用いられている。

(41) 照这样斗下来两头牛都得受伤 (例（8）の再掲) (→斗下去)

[このまま闘い続けたら、2 頭の牛はきっとどちらも怪我をする]

(42) 这样盖下来大概得上千万元钱 (《HSK 词语用法详解》182) (→盖下去)

[このまま建てていったら、たぶん何千万元もかかる]

(43) 这样干下来得一个多月 (《HSK 词语用法详解》185) (→干下去)

[このままやり続けたら 1 ヶ月あまりかかる]

(44) 这样检查下来能发现问题 (《HSK 词语用法详解》261) (→检查下去)

[このまま検査を続けたら問題が見つかるだろう]

(45) 照这样训练下来，再有一个月就可以上阵了 (《汉语动词用法词典》426)

(→训练下去)

[このように訓練を続けていけば、あと 1 ヶ月で出陣できるようになる]

ここでは 2.1. でみたような行為の完了までの過程を表すという意味で、“V 下来”の形が用いられている。ただし発話時以降の継続を表していることから、いずれも“V 下去”の形に置き換えが可能である（上記例ではそのことを「(→V 下去)」で示した）。一方で、次の例（46）および（47）ではこれからのことを表しているにもかかわらず、“V 下去”

の形ではかえって不成立あるいは不自然となる。

(46) 这样分析下来问题就清楚多了 (《HSK 词语用法详解》169) (→*分析下去)

[このように分析していくと問題がずっとはっきりする]

(47) 这样设计下来, 成本就会上升 (《HSK 词语用法详解》453) (→? 设计下去)

[このように設計していったら、コストが上がるだろう]

例 (46) では“問題就清楚多了”という明確な結果が示されており、将来における、それが実現される段階に焦点が置かれるという意味で“V 下来”の形が用いられている。“V 下去”の表す継続義は終結点を明示するものではなく、ここでは“分析下去”とするとその到達段階が不明瞭となってしまうことが、上記表現が不成立となる要因だと考えられる。例 (41) ~ (44) でも同様に結果は示されているものの、(41) “得”や (42) “大概”といったモーダルな要素や、(42) “上千万”や (43) “多”といった概数の使用が話者の判断を曖昧なものにしており、このために“V 下去”への置き換えが可能となる。例 (45) から読み取れる「完全 (すなわち最終的な終結点) ではないにしろ、あと1ヶ月もあればまあそのレベルに達する」という一種妥協的なニュアンスも曖昧な語気につながるものである。費用について述べた例 (42) と (47) において“V 下去”の成立の度合いに差が生じるのは、金額の変化について前者では金額が積み重なっていくアナログ的 (連続的) な上昇が示されているのに対し (このとき到達点は不明瞭)、後者では金額の上昇の有無というデジタル的な変化 (ある時点、すなわち到達点における変化) として捉えられており、この認識の相違が到達点の形成の差となって現れることに起因するといえよう。

ここでみた例 (41) ~ (47) ではいずれも「~ならば…である」という条件・因果関係が表されており (例 (45) ~ (47) では帰結を導く“~就…”の形が用いられている)、後節の述べる事柄・状態の実現には前節で述べる動作・行為の実現が前提となるため、“V 下来”の形を用いることができる (例 (39) (40) もあわせて参照)。確実にそうなるという意味では、次の例では仮定・条件を表す部分に数量表現が用いられて継続の期間が限定されていることから、“学习下去”の形を用いることはできない。

(48) 四年学习下来, 可以拿到大学文凭 (《HSK 词语用法详解》588) (→*学习下去)

[4年間学んだら、大学の卒業証書を取得できる]

この例に次のような不確定要素を導入することにより、“学习下去”の形が使用可能となる。

(48)′ 四年学习下去, 如果不出意外的话, 就可以拿到大学文凭 (→? 学习下来)

[4年間学んで、不測の事態が起こらなければ、大学の卒業証書を取得できる]

「もし何もないければ」という主旨の仮定の条件は事態の発生を否定するものであり、この終結点を特定しないという働きにより、今度は“学习下来”への置き換えが不自然

なものになってしまう。

3. “下”の表す収容義

3.1. 収容という概念

方向補語“下”には「収容・収納」を表す用法がみられ、これは多くの辞書や文法書類でも言及されている。そのうちの代表的な記述をここに挙げておく。

表示有空间，能容纳

这个剧场能容下上千人

这间屋子太小，睡不下六个人

《现代汉语词典》(第6版)，2012年：1403頁

……動作をするだけの余地があることを表す

车里坐不下那么多人

『講談社 中日辞典』(第3版)，2010年：1714頁

収容という概念を理解する際には、容器の容量(空間)と内容物の分量の比率が問題となる。

(49) 一个小碗冲不下那么多奶粉(《汉语动词用法词典》52)

[1つの小さいお碗の中でそんなに多くの粉ミルクを溶くことはできない]

(50) 一行填不下三十个字(《中国語補語例解》453)

[1行に30字は書き込めない]

(51) 一张磁盘储存不下(《HSK 词语用法详解》83)

[1枚の磁気ディスクでは保存できない]

(52) 一张纸能印下吗？(《中国語補語例解》534)

[1枚の紙で(この分量を)印刷できるのですか？]

(53) 这么多菜就一个盘子能盛下吗？(《中国語補語例解》69)

[こんなにたくさんの料理、たった1枚の大皿に盛り付けられるのですか？]

例(51)および(52)のように内容物が示されていないもの、あるいは例(53)のように内容物が文頭に示されたケースはみられるものの、“V下”の形を用いて収容義を表す典型例は次のように

場所＋動詞＋(数量成分＋)人・物

の語順で示されるいわゆる存在文の形に通じるものだといえる。以下、例を挙げる。

(54) 这点儿地方只能蹲下两个人(《中国語補語例解》141)

[これっぽちの場所には2人しかしゃがめない]

- (55) 箱子里塞不下这么多东西 (《中国语补语例解》391)

[箱の中にこんなにたくさんの物は詰め込めない]

- (56) 一个圈里养不下十口猪 (《汉语动词用法词典》432)

[1つの囲いの中で10頭の豚は飼えない]

- (57) 那儿能站下多少人? (《中国语补语例解》554)

[そこには何人立てますか?]

- (58) 刚好摆下一张桌子 (《中国语补语例解》9)

[ちょうど机が1つ置けた]

これらは述語動詞に“有”や“V着”(例:挂着、貼着)が用いられた存在あるいは存在のありさまに言及した表現とは異なり、可能表現や例(58)のような評価に関わる副詞との組み合わせによって存在の可否、すなわち収容能力について言及したものである。次の例では、主題として提示された道具の属性が述べられている。

- (59) 这只小鱼缸能养下几条金鱼? (《中国语补语例解》528)

[この小さな金魚鉢で何匹の金魚を飼うことができますか?]

- (60) 这张床连两个人也躺不下 (《中国语补语例解》442)

[このベッドでは2人でも横になれない]

- (61) 这个坛子能腌下二十斤萝卜 (《中国语补语例解》523)

[このかめだと大根を20斤漬けることができる]

- (62) 这个口袋少说也能装下一百斤大米 (《中国语补语例解》579)

[この袋に少なくとも百斤の米が入れられる]

また、上記のような容器が用いられたケースとは異なり、次の例では一次元的なロープが主題となっている。

- (63) 这根绳子能晒下三床被子 (《中国语补语例解》396)

[このひもでは、掛け布団を3枚干せる]

ひもの場合には長さが分量を想起させるものであることが、収容の概念につながることになる。

3.2. 調理方法を表す動詞を用いた場合

邱广君 1997a: 18は補語“下”と結び付いて収容の意味を表す動詞を“容量动词”と名付け、その例として“容、住、跪、躺、蹲、站、坐、睡、摆、放、装、搁、挤、排、铺、塞”などを挙げている。これらの動詞については、存在主体および場所が統語的にも優先して選択される要素として想定しうることから「収容」という概念とのリンクが比較的容易であるものの、こうした語義特徴を有さない“炒、烧、熬、烤、蒸、煎……”など調

理方法を表す動詞についても“V下”の形で用いて、同じく「～するだけの余裕がある」という意味を表すことが可能である⁴⁾。

(64) 这么多菜一锅怎么能炒下？(例 (9) の再掲)

[こんなにたくさんの料理、なべ1つでどうやって炒めることができますか？]

(65) 一锅熬不下二斤米的粥(《汉语动词用法词典》4)

[1つのなべでは2斤のお粥は作れない]

(66) 这个砂锅大，能煎下这剂药(《汉语动词用法词典》187)

[この土鍋は大きいので、この薬を煎じることができる]

(67) 这个锅能烧下几斤肉？(《中国語補語例解》403)

[このなべで何斤の肉を煮ることができるの？]

(68) 一屉能蒸下多少花卷儿？(《中国語補語例解》562)

[せいろう1つでどれだけの“花卷儿”(蒸しパンの一種)を蒸すことができますか？]

ここでは容器とその中身(食材のこと)が現れ、その容量や分量が問題となっており、収容義を表す補語の“下”が用いられている。とりわけ例(64)および(66)については、“这么多菜”“这个砂锅大”といった語句からも分かるように収容量の多寡に対する判断が示されており、この“下”を用いて表現する必要がある(収容量自体を問うにすぎない例(67)(68)では、“下”は省略可)。また、意味的に例(66)～(68)では道具が主題となっていることに加えて、動詞“煎、烧、蒸”が表す行為が対象物に対していわば「放任的」であることが一種の状態として認識されるために(これは存在文に通じるものである)、動作主は背景化しているといえる。これに対して例(64)では行為の対象が主題化されており、また動詞“炒”からは動作主の動態的な働きかけが感じられるため、ここでは動作主が前景化されることになり、当該の日本語訳から日本人学習者が収容という概念と結び付けて、“V下”の形を用いて中国語でこれを表現するのは容易ではないと思われる。

3.3. “吃不下”について

フレーズ“吃不下”の表す意味について、『中日辞典』第2版(小学館)2003年:203頁には次のような記述がみられる(体裁は引用者)。

【吃不下】(満腹で)食べられない

(病気などで)食物がのどを通らない

この1つ目の意味は今回本稿で扱っている「収容義」に基づくものであり、同用法につ

いては教科書や参考書類でも言及がみられる。

動詞＋得／不＋下（容量的な可能性を表す）

太饱了，这个三明治吃不下了。

『改訂版 簡明実用初級中国語』郭春貴，白帝社，1999年：85頁

“～不下”は「～する空間的余裕がない」ということで、“我已经吃饱了，吃不下了。”のように言い、……

『中国語練習ドリル』荒川清秀，NHK出版，2013年：102頁

（以上、体裁は引用者による）

人間の身体はメタファー研究において、往々にして容器に喩えられる。

(69) a. 听进去 [聞き入れる]

b. 咽进去 [飲み込む]

(70) 说出来 [言う]

ここでは出入りを表す補語が容器の存在を想起させる。そして、同じく身体部位が用いられた次の例(71)(72)では、収容義の“V下”が可能補語の形で表されている。

(71) 我脑子里可记不下这么多事（《汉语动词用法词典》181）

[私の頭ではこんなにたくさんのことは覚えきれない]

(72) 顾谷笑容上脸，高兴得容纳不下，恨不得和同车的乘客们分摊高兴。

（钱钟书《猫》 <http://139shu.com/view/3831.html>）

[顧谷は顔に笑顔を浮かべ、喜びが抑えきれずに、乗り合わせた乗客たちと喜びを分かち合えないことをもどかしく思った]

こうした意味で、“吃不下”についても「人間の体」「満腹」といった要素が収容義とリンクする動機づけになりうることは想像に難くないものの、

(i) 「吃、咽」＋「下」の組み合わせにおいては、食べ物の軌跡が前景化された「方向義」で解釈されることが少なくない。

(ii) 「おなかいっぱい食べられない」ことを表すのに日本人学習者が真っ先に思い浮かべるフレーズは“吃不下”ではなく、“吃不了”である（上記、郭春貴1999および荒川2013の各例においても、“吃不下”を“吃不了”に置き換えることは可能である）。

といった要因から、実際には“吃不下”を空間的な収容義とリンクさせるのは、日本人学習者にとって、一概に容易なことだとは言いきれない。現に、次の刘月华主編1998：139の引用例をみると

(73) 飯，是吃不下了，肚子饱饱的，想喝酒。

[飯は、もう食べられない。おなかはいっぱいだが、酒は飲みたい]

ここでは“肚子饱饱的”の部分が容量を明示しているにもかかわらず、この例(73)については同書では収容を表すという“結果意義”ではなく、“趋向意义”に区分されている⁵⁾。また、次の例(74)には“饭量那么大”という分量に関わる語句が用いられているものの、ここでは上記小学館の『中日辞典』の「(病気などで)食物がのどを通らない」という方向義での解釈となり、“吃不了”と置き換えることはできない。

(74) 他平时饭量那么大，今天却什么都吃不下。(『ネイティブ中国語』42)

(→*吃不了)

[彼は普段あんなにたくさん食べるのに、今日は何も食べられない]

4. おわりに

以上、“下来”の「完了までの過程を表す用法」および“下”の表す「収容義」について考察した。前者については「行為の分量」、後者については「モノの分量」という観点から、行為の遂行が述べられる。両用法については、方向補語の各種用法に関する意味ネットワークの構築時に求められるような有機的な意味項目の相関関係を見出すことは困難であるものの、どちらも典型的には数量表現という客観的な指標を導入して、行為遂行の可能・不可能を表現するものであるという共通点が見出せる点では、興味深く感じられる。

注

1) メタファーの例としては、方向動詞“上、下”が「行く」の意味で使われた“上北京、下乡”などが挙げられる。こうした組み合わせの動機づけとしては、しばしば目的語に対する価値観(プラス評価は上、マイナス評価は下)の現れであるとされる。

2) 張燕春 1995: 26 には、次のような記述がみられる。

“上、下”都表示“容纳”。例如：

A：住上十二个人 睡上三个孩子 ……

B：住下十二个人 睡下三个孩子 ……

“上”の収容義については、通常、文法書類では記載がみられず、上記例についても単独で示された場合には広く認められる用法だとは言いがたい(ただし、胡晓慧 2012: 84 では同記述を引用したうえで“張燕春(1995: 26)在讨论这类“V上/下”时，认为“‘上’、‘下’都表示‘容纳’，都有一定的道理。”と評しており、同用法を認める者もいると思われる)。例えば実際には

别墅一共三层，一楼是客厅和餐厅，还有两间卧室；二楼和三楼都是卧室，虽然比周家

的别墅还要小一些，不过再住上七八个人倒也是完全没有问题。

(<http://www.7cct.com/dush/4583/2099438.html> 誤字、引用者訂正)

[～しかしながら、あと7、8人住んでもまったく問題はない]

このような例もみられるものの、この場合の“上”は次に示すのと同様の「(数量的な)到達」の意味に該当するように思われる(上記例では収容を表す“住下”を用いることも可能)。

再晴上一两天也好啊(《汉语动词用法词典》302)

[あと1、2日晴れてくれればいいのにな]

加えて、“下”を用いた収容義の典型例ともいえる“这辆车能坐下五个人。”[この車には5人乗れる]を“*这辆车能坐上五个人。”とはできないことなどから、本稿では収容義を“上”にはみられない、“下”に固有の用法として扱う。

- 3) 次の“V下来”を用いた二例では動作の完成義のみならず、その結果がうまくいったことまでが含意される。

a. 这个案子告了一年才告下来，总算出了这口气。(『ネイティブ中国語』107)

[この事件は告訴から1年経ってようやく勝訴し、やっとせいせいした]

b. 他终于把那个老大难的问题啃下来了。(『ネイティブ中国語』170)

[彼はとうとうあの長い間未解決だった難題を解決した]

- 4) 次の例における“炒下”は、収容ではなく動作の完成を表すものである。

……你个贱骨头！我给你炒下的菜，你不回来吃，绕世界胡塞去舒服？(《骆驼祥子》167)

[このろくでなし！私が作っておいた料理を食べに帰ってこようともせずに、外をほつつき回って手当たり次第口にして気持ちいいのかね？]

- 5) “坐下”の“下”が「方向義」を表すのに対し、“这里只能坐下三个人，五个人坐不下。”[ここには3人しか座れない。5人は座れない]における2つの“下”は「収容義」を表すものである。可能補語“坐不下”に対応する原形が“坐下”であるが故に、学習者にとってこれらを別個の用法としては捉えにくく感じられる。

用例出典

老舍《骆驼祥子》，人民文学出版社（1989.9）。

侯精一等编著 2001.《中国语补语例解》（日文版），田中信一等译，商务印书馆。

黄南松・孙德金主编 2000.《HSK 词语用法详解》，北京语言文化大学出版社。

陆庆和・黄兴主编 2009.《汉语水平步步高 句子成分》，苏州大学出版社。

孟琮等编 1999.《汉语动词用法词典》，商务印书馆。

陳文芷・陸世光主編 2008.『ネイティブ中国語 — 補語例解』，大修館書店。

主要参考文献

王志英 2006.「中国語の“下”と“～下”について」、『沖縄大学人文学部紀要』第8号。

丁永寿编著 / 译 2010.《对外汉语教学参考》，北京语言大学出版社。

- 董淑慧 2012. 《认知视野下的对外汉语语法教学 — 以“趋向动词语法化”为例》, 南开大学出版社。
- 傅源 1999. 〈浅析趋向补语“下”的语义源流〉, 《对外汉语教研论丛》, 华东师范大学出版社。
- 关键 2000. 〈补语“下(来/去)”“下来”“下去”的意义和用法〉, 《汉语言文化研究》第7辑, 谢文庆·孙晖主编, 天津人民出版社。
- 胡晓慧 2012. 《汉语趋向动词语法化问题研究》, 广西师范大学出版社。
- 李思旭·于辉荣 2012. 〈从共时语法化看“V上”与“V下”不对称的实质〉, 《语言教学与研究》第2期。
- 李燕 2012. 《现代汉语趋向补语范畴研究》, 南开大学出版社。
- 刘月华主编 1998. 《趋向补语通释》, 北京语言文化大学出版社。
- 卢英顺 2002. 〈“下去”句法、语义特点探析〉, 《语法研究和探索》(11), 商务印书馆。
- 卢英顺 2006. 〈“下来”的句法、语义特点探析〉, 《宁夏大学学报》(人文社会科学版) 第28卷第5期(总第136期)。
- 邱广君 1997a. 〈谈“V下+宾语”中宾语的类、动词的类和“下”的意义〉, 《语文研究》第4期。
- 邱广君 1997b. 〈与“V下+宾语”有关的几个问题〉, 《第五届国际汉语教学讨论会论文集》, 北京大学出版社。
- 任鹰·于康 2007. 〈从“V上”和“V下”的对立与非对立看语义扩展中的原型效应〉, 《汉语学习》第4期。
- 杉村博文 1983. 〈试论趋向补语“下”“下来”“下去”的引申用法〉, 《语言教学与研究》第4期。
- 沈家煊 1999. 《不对称和标记论》, 江西教育出版社。
- 史锡尧 1993. 〈动词后“上”、“下”的语义和语用〉, 《汉语学习》第4期。
- 于康 2006. 〈“V下”的语义扩展机制与结果义〉, 『中国語の補語』, 白帝社。
- 张燕春 1995. 〈“V+上/下”中“上/下”的意义和V的类〉, 《赣南师范学院学报》第4期。
- 张燕春 1996. 〈“V+上/下”的语义、语法分析〉, 『中国語研究』第38号, 白帝社。
- 周统权 2003. 〈“上”与“下”不对称的认知研究〉, 《语言科学》第2卷第1期(总第2期)。
- Otani, Naoki 2006. “The Conceptual Basis of the Particles *Up* and *Down* in English : Asymmetries in the Vertical Axis”. 『言語科学論集』第12号, 京都大学大学院 人間・環境学研究科 言語科学講座。

[付記] 本稿は平成25年度科学研究費補助金(基盤研究(C) 課題番号23520503)による研究成果の一部である。